

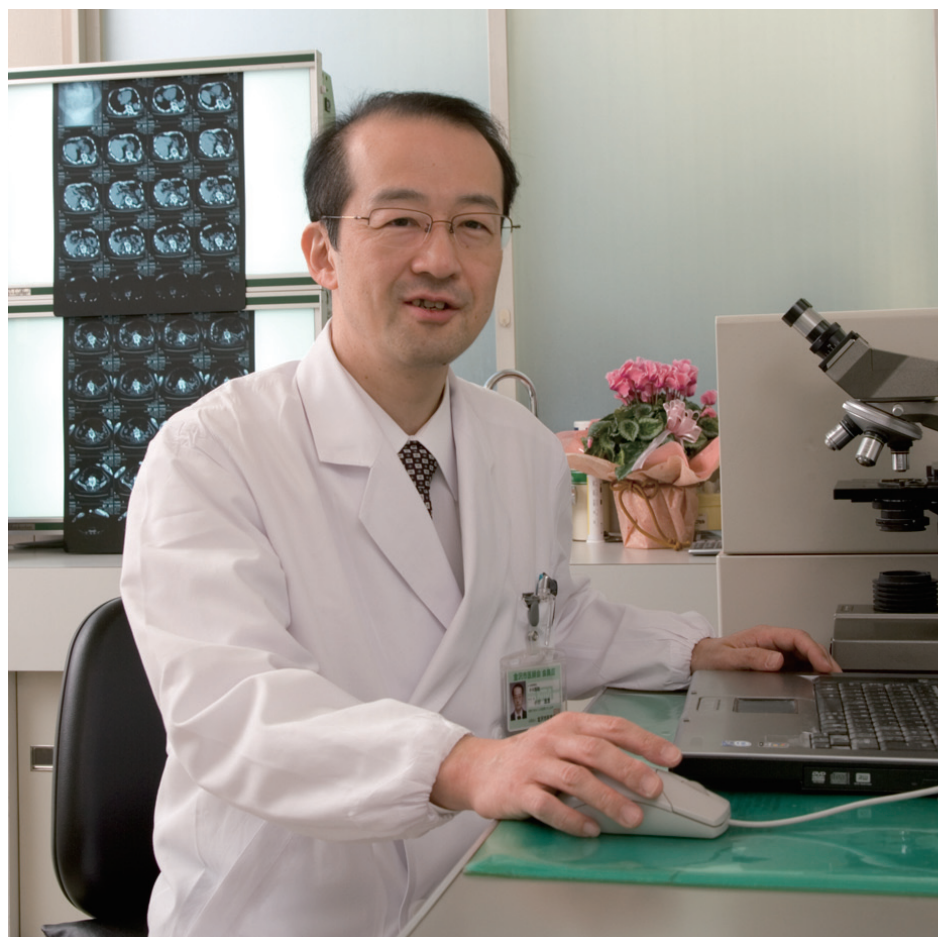
小川医院

内科

消化器内科

循環器内科

患者の声によく耳を傾ける町の名医として有名。



今年発刊された「AERA」の増刊号「日本の家庭医08・町のお医者さん1435人」にも選ばれた町医者として地域の患者の信頼は絶大。数多くの著書もあり、在宅医療、特に胃ろう(PEG)に関しては全国的にも有名な小川滋彦先生。

石川県の開業医としては数少ない日本内科学会の総合内科専門医の資格を持つ、「小川医院」の小川院長。今年発売された、雑誌「AERA」の増刊号「日本の家庭医08・町のお医者さん1435人」にも選ばれ、町医者の名医として日々患者と向き合っている。消化器や循環器が得意な内科医で、特に消化器系の経皮内視鏡的胃ろう造設術に関しては全国的にも有名。著書も数冊、出版されていて、医学生を受け入れや、数多く

の講演活動も行っている。また、在宅医療にも熱心に取り組んでおり、家族の皆さんや患者さんの訴えにもよく耳を傾け、親切で丁寧な対応が大変な評判を呼んでいる。その胃ろうケアに奔走する姿は多くの医療関係者からも尊敬されている。多くは大病院の関係者が務める日本消化器内視鏡学会の北陸地方会の会長を、開業医ながら務めるなど、その活躍は多くの患者さんとともに北陸の医療現場でも高い評価を得ている。



1. 明るく清潔な待合室。2. 胃のレントゲンや内視鏡の設備も充実している。3. 開業医では数少ない総合内科専門医。

【医師・設備】

内科

消化器内科

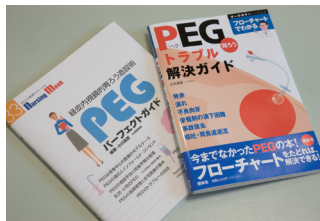
循環器内科

小川滋彦

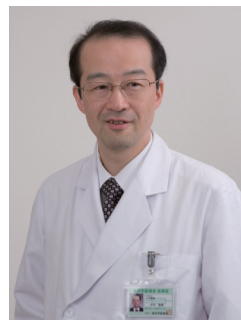
健康診査、健康診断、保健指導、各種健康相談、その他(がん検診 胃・肺・肝臓) 介護認定・予防接種・往診可

Information

全国の医療関係者の必読書も数多く出版している町の名医。



メディカル・コア発刊『経皮内視鏡的胃ろう造設術と在宅管理』を共同執筆他。2003年、日本医事新報に「在宅PEG管理のすべて」を連載。2001年『PEGを味方にすれば町医者は病院に負けない!』を出版。2006年、2008年にもPEGのテキストを出版。



小川 滋彦 院長

岐阜大学医学部卒業後、金沢大学第2内科入局。のち石川県済生会金沢病院消化器内科医長。平成3年金沢大学医学博士の学位取得。平成8年より父の跡を継ぎ小川医院へ。



小川医院

金沢市笠舞 2-28-12

☎(076) 261-8821

診療/月~土9:00~11:30

月~金14:00~17:30

休/土曜日午後、日曜、祝日

P/あり